

『テーブルオフィシャルズ活動報告』

スポーツ科学科 2年

石松 孝則 奥村 勇貴 大戸 憂茄 加野 愛弓 長屋 拓

私たちは現在、1年生8名、2年生11名の計19名で活動しています。

そのうちの10名はバスケットボール未経験者で、ルールを知っていても中学校、高等学校の体育の授業での内容程度しか知らないようなメンバーでした。また、バスケットボール経験者の中でも、ほとんどテーブルオフィシャルズを経験したことがない者もあり、テーブルオフィシャルズの未経験者は、計12名いました。そのような状態の中で、私たちは経験者・未経験者関係なく、声を掛け合い、お互いの課題やわからないことなどを話し合い、助け合いながら取り組んでいます。

テーブルオフィシャルズとは、スコアラー、アシスタントスコアラー、タイマー、ショットクロックオペレーターの4名で構成され、審判とともに規則に沿ってゲームを公正かつ円滑に試合を進行させる重要な役割を担っています。また、ゲームの流れを感じ取り、プレイヤーやベンチと同じように緊張感を持ってゲームに臨むことが大切です。そのためには、「正しい知識」、「豊かな経験」、「高い責任感」が必要とされます。

テーブルオフィシャルズや日本のバスケットボールトップリーグ、三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ名古屋についてなどを説明させて頂きながら、現2年生のみで活動させて頂いた2014 - 2015シーズンと1年生と共に現在も活動している2015 - 2016シーズンの活動報告を今回させて頂きます。